

地域を変える POWER!!

地域おこし協力隊

の ま ち え り か
野町 絵里佳さん



肝付町の皆さまこんにちは！
地域おこし協力隊の野町絵里佳です。

前回に引き続き、今回もイノシシレザーのお話です。

食肉加工施設を作るのはハードルが高いけれど、廃棄される皮を「革」として生まれ変わらせる事なら今の私にもできるのではないかと、レザーの取り組みを始めたのですが、解体方法の違いによりこちらもハードルが高いものでした。

多くの地域では皮剥ぎをしてから解体するのですが、こちらの地域では『毛の処理をしたうえで皮付きのまま解体する』という方法がとられています。

実際に解体の現場に何度か立ち会わせていただいたなかで、食用として利用する場合の毛の処理を考えると、肝付町でされている解体方法は効率的かつ衛生的だと感じました。

そして、不要なものとして廃棄されていると思っていた皮は『皮付きのまま保存した方が長持ちする』という大切な役割を果たしている事も知ることができました。

また、実際にイノシシレザーの販売をされていらっしゃる長

崎の工房を視察して、たとえば皮を頂けるようになったとしても、剥いだ皮を1週間くらい塩蔵したり干したりと、なめし業者に送るまでの工程は私の住んでいる住宅街では厳しいという事も分かりました。

『廃棄される皮を革製品として生まれ変わらせたい』という思いで始めたジビエレザーでしたが、思っていたような展開にならなかった分、学びは多かった！

これだけ条件が整っていないにもかかわらず、長崎で実際に触れたイノシシレザーから感じた一枚一枚の違った傷や厚さ、硬さや色、全てにおいて全く違う表情をもった『命の個性』の尊さには、改めて心を打たれました。

たくさんさんの学びを経たうえで、今すぐに取り組むことではなくても、家探しやレザークラフトの勉強等、今出来ることに一つ一つ向き合いながら私達の都合により廃棄される命をいつかイノシシレザーとして循環させることができるよう、長い目で取り組んでいきたい課題となりました。



▲ 1945年9月2日のバーディン広場

毎年9月2日は、ベトナムの建国記念日（Quốc Khánh）です。1945年9月2日、ハノイのバーディン広場でホー・チ・ミン首席が「ベトナム独立宣言」を読み上げ、ベトナム民主共和国の成立を世界に宣言しました。この日は現在、ベトナム社会主義共和国における最も重要な祝日のひとつとなっています。

建国記念日は、国中がお祝いムードに包まれます。街には赤地に黄色い星が描かれた国旗が飾られ、公共施設や商店だけでなく、家庭でも国旗や花で彩られます。ハノイでは政府主催の記念式典やパレードが行なわれるほか、地域によっては花火大会も開催され、多くの人が家族や友人と祝日を楽しみます。

また、この日はベトナムの独立や歴史について改めて考える日でもあります。テレビでは独立の歴史や国の発展を紹介する特別番組が放送され、人々は祖国のために尽力した先人たちに感謝するとともに、平和で豊かな未来への願いを新たにします。

近年のベトナムは急速な経済発展を遂げ、国際交流もますます活発になっていますが、時代が変わっても建国記念日は、国の独立と平和の大切さを次の世代へ伝える大切な日として、多くの人々に受け継がれています。

9月初旬にベトナムを訪れると、街中に掲げられた国旗や祝賀イベントを通して、国全体がお祝いの雰囲気の中に包まれている様子を見ることができます。建国記念日を知らせることは、ベトナムの歴史や文化、そして人々の祖国への思いを理解する第一歩となるでしょう。

9月2日は
ベトナム
建国記念日



▲現在のバーディン広場

写真出典：Tin tức 新聞 (baotintuc.vn)